

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社シーピーアール					
代表者名	氏名	鷹見 善彦	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	愛知県名古屋市中熱田区白鳥3丁目6番22号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	32 その他の製造業				
主たる事業の概要	リサイクルプラスチックパレットの製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,955	1,920	2,211	2,174	1,936
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,586	3,521	4,036	3,973	3,541
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	452		452	452	452
自動車の台数	台	1		1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	2				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

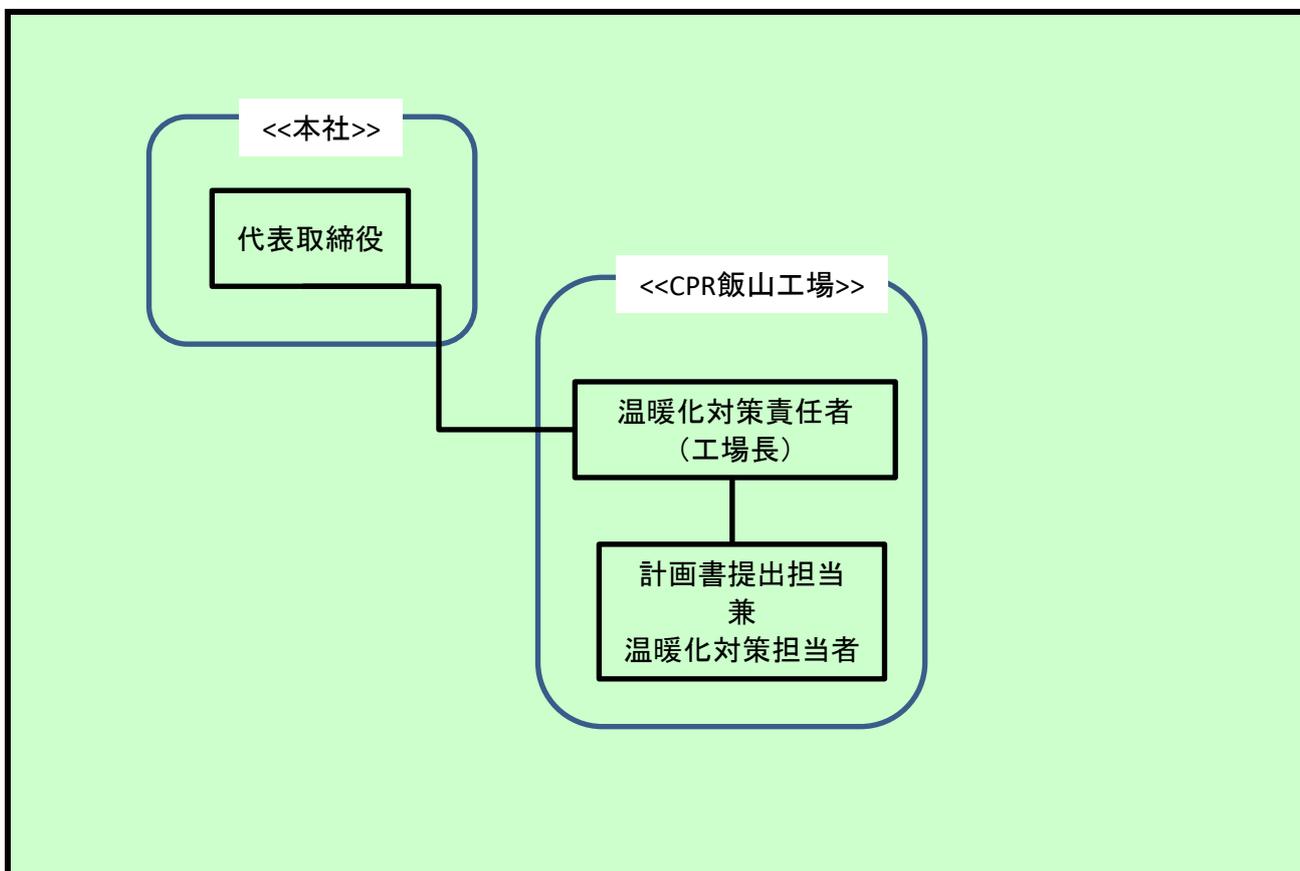
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	CPR飯山工場 8:30～17:30 0269-81-2174 担当部署：業務部門
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

IS014001:2015に基づく環境目標を定め、進捗管理を行う。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境(温暖化対策)管理委員会(4回/年)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,586	t-CO <sub>2</sub>	総物質投入量	19.28	単位	千t
2019年度	調整後排出量	3,586	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	186.00	t-CO <sub>2</sub> /	千t
目標年度	目標排出量	3,521	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	182.65	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2022年度	目標削減率	1.81	%	目標削減率	1.80	%	
目標設定に関する説明	ISO14001:2015の中長期目標として5年間で3%の削減目標を挙げているため、年間目標は、0.6%、目標年度までに1.8%の削減とした。						
第一年度	排出量	4,036	t-CO <sub>2</sub>	総物質投入量	20.44	単位	千t
	削減率	-12.55	%	原単位	197.49	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2020年度	調整後排出量	4,036	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-6.18	%	
	削減率	-12.55	%				
排出量等の増減理由	①総物質投入量の増加 ②製品品質側面から処理・生産律速を調整し機器稼働時間が増加						
第二年度	排出量	3,973	t-CO <sub>2</sub>	総物質投入量	20.19	単位	千t
	削減率	-10.80	%	原単位	196.78	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2021年度	調整後排出量	3,973	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-5.80	%	
	削減率	-10.80	%				
排出量等の増減理由	①総物質投入量の増加 ②製品品質側面から処理・生産律速を調整し機器稼働時間が増加（第一年度と傾向は変わらない） ③2022年2月に破碎・造粒ラインの設備変更を実施し原単位電力を削減したが当年度は実質1ヶ月強の効果のみ						
第三年度	排出量	3,541	t-CO <sub>2</sub>	総物質投入量	20.58	単位	千t
	削減率	1.25	t-CO <sub>2</sub>	原単位	172.06	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2022年度	調整後排出量	3,541	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	7.49	%	
	削減率	1.25	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	①総物質投入量が増加したが大型電力機器削減により原単位では達成。 ②2022年3月に導入した脱水減容機による電力削減の効果が丸1年発揮された。 ③2022年12月からペレット造粒機の稼働を停止した。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	452	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	452	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	0.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	452	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	0.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	452	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	0.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2	t-CO <sub>2</sub>			単位
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	370706	保守計画に基づく主要機器の定期点検	2020～2022	20	2020	6.6
2	エネ起	310300	主要6機器のデマンド監視と電力使用量抑制	2020～2022	20	2020	6.6
3	エネ起	370799	①成型機ルーダー更新 ②脱水機ローター更新 ③事務棟LED化学	2020	61	2020	61.0
4	エネ起	370799	①上欄の残月数分 ②洗浄機2台更新 ③減容ライン一式刷新	2021	134	2021	58.8
5	エネ起	370799	①上欄の残月数分 ②ペレット押出機1台の稼働停止	2022	257	2022	411.7
6	エネ起	370799	上記の内、②(12月～4ヶ月)			2022	181.0
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,586	1	4,036	1	3,973	1	3,541
1,500k1未満								
合計	1	3,586	1	4,036	1	3,973	1	3,541

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC	452	452	452	452
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	452	452	452	452

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	工場立地上、不可、実施なし
自転車の利用促進	総従業員60名 徒歩9名、冬季以外自転車通勤2名
来客者の交通対策	工場の最寄りのJR駅は、飯山線信濃平駅、来場可能な場合のみ利用。 工場の立地場所が、丘陵地のため車の利用が不可欠。駅から社有車で送迎。
物流の合理化	ラウンド配送(行きも帰りも荷を積み、空車にしない)によるトラック走行距離数削減、環境マネジメントシステム導入時より実施

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	エコアクション21(2006~2017)→ISO14001:2015(2018~ )	2018
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄